

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<30週> 咽頭結膜熱は例年の同時期に比べ定点当たり報告数が増えている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<腸管出血性大腸菌感染症> 第30週の報告患者総数は120
<無菌性髄膜炎> 第30週の報告患者総数は110で、定点当たり報告数は0.24



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 Vero毒素産生性大腸菌 / 手足口病 / 無菌性髄膜炎 / 咽頭結膜熱



IASRからの速報
P.6

手足口病の地域流行 栃木県 / 手足口病・ヘルパンギーナ患者からのエンテロウイルス71型の分離 北九州市



海外感染症情報
P.7

ラッサ熱死亡例に関する公衆衛生上の管理 オランダ



感染症の話
P.8-10

エキノкокクス症
<トピックス> 最近秋田県においてエキノкокクス症と判断された症例について



読者のコーナー
P.11



グラフ総覧(30週)
P.12-18



30週のデータ
P.19-26



発生動向総覧

第30週コメント 8月3日集計分

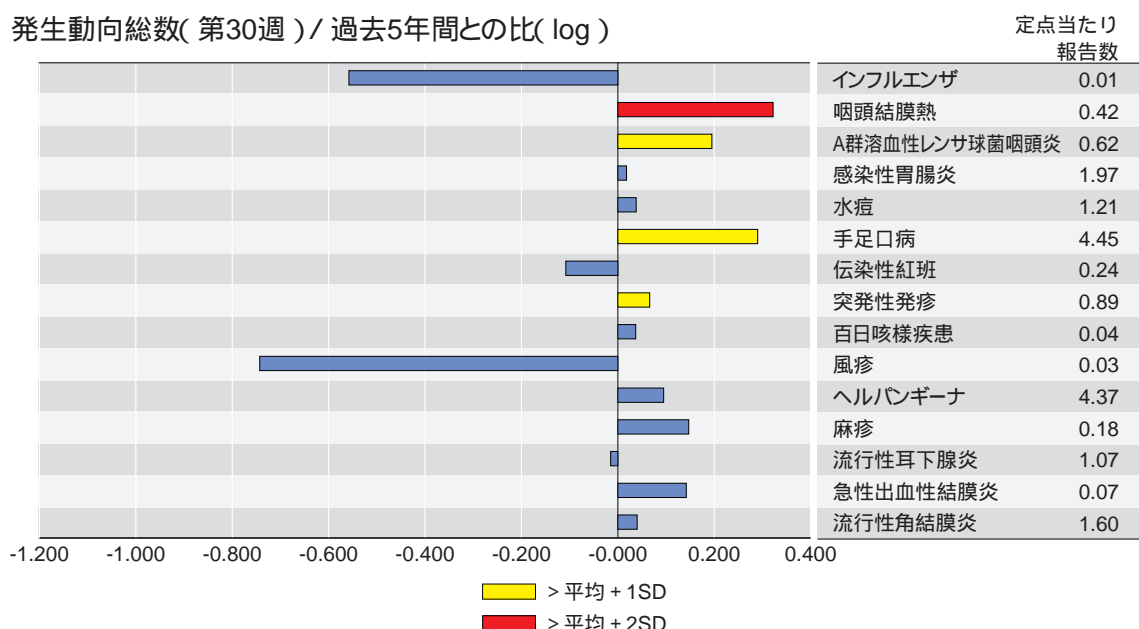
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ2例(推定感染地: マレーシアまたはインドネシア1例、フィリピン1例)
細菌性赤痢12例(推定感染地: 国内6例、インドネシア2例、インド1例、マレーシア1例、ペルー1例、不明1例)
腸チフス1例(推定感染地: ナイジェリア)、パラチフス1例(推定感染地: インドネシア)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症120例
- 4類感染症: アメーバ赤痢6例、
急性ウイルス性肝炎8例 A型2例__推定感染地: 国内1例
B型5例__うち性行為感染3例
C型1例__感染経路不明
後天性免疫不全症候群8例(AIDS3例、無症候性キャリア3例、その他2例)
感染経路__性行為感染8例うち異性間4例、同性間3例、
異性/同性間1例
クロイツフェルト・ヤコブ病2例(ともに孤発性)、ツツガムシ病2例、レジオネラ症3例、
デング熱2例(推定感染地: バングラデシュ1例、インドネシア1例)、梅毒5例(早期
顕性2例、晩期顕性0例、無症状3例、先天性梅毒0例)、破傷風2例、VRE2例、
マラリア1例(三日熱マラリア、推定感染地: スリランカ)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

咽頭結膜熱は例年の同時期に比べ定点当たり報告数がかかなり多くなっており、第30週としては過去10年間で最大となっている(定点当たり報告数0.4)。特に定点当たり報告数が多くなっているのは、和歌山県(3.6)と香川県(2.2)である。手足口病の定点当たり報告数は、例年の同時期よりやや多くなっているが、第28週の定点当たり報告数5.8をピークに減少傾向にある(13ページグラフ総覧、手足口病参照)。定点当たり報告数が多いのは、山形県(14.6)、大分県(9.7)、兵庫県(9.2)、奈良県(9.1)などとなっている(病原体については5ページ病原体情報参照)。ヘルパンギーナは過去10年間で最大の流行となったが(15ページグラフ総覧、ヘルパンギーナ参照)、第28週の定点当たり6.0をピークに減少傾向にある。定点当たりの患者報告数が10を超えているのは宮城、新潟の2県のみである。麻疹の患者報告数は依然大阪で多い。流行性耳下腺炎は熊本県で定点当たり3.1の報告がある。流行性角結膜炎は佐賀県で4.3、東京都で3.6、茨城県で3.5、愛媛県で3.3と定点当たり報告数が多くなっている(病原体については5ページ病原体情報参照)。

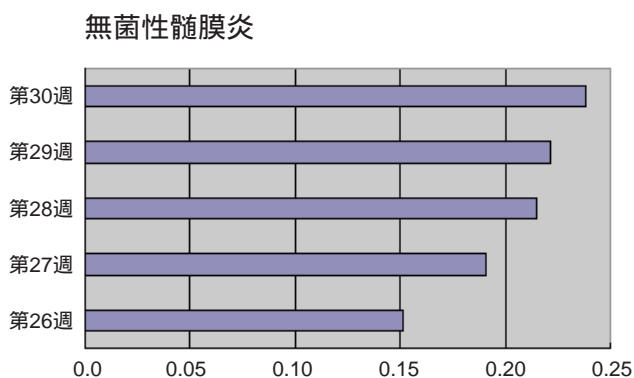
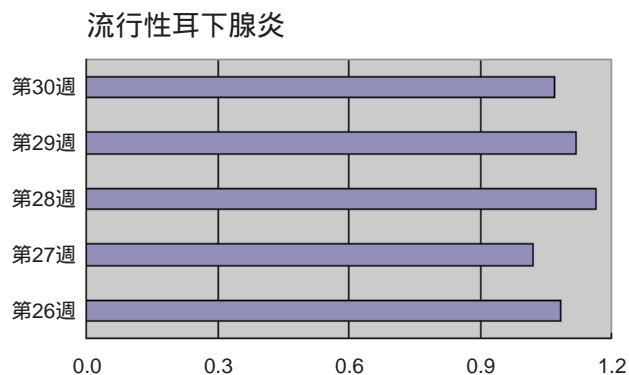
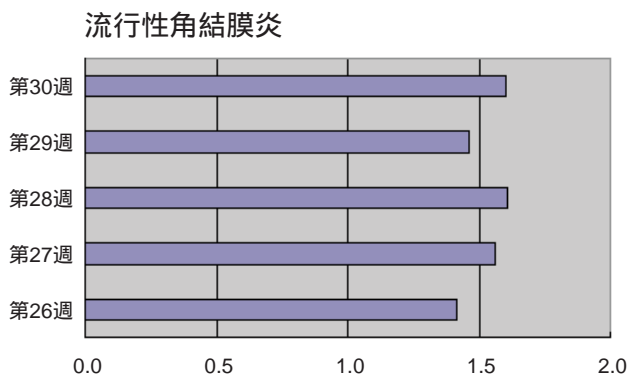
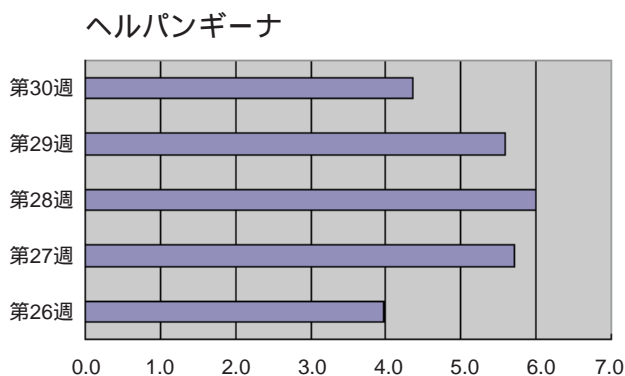
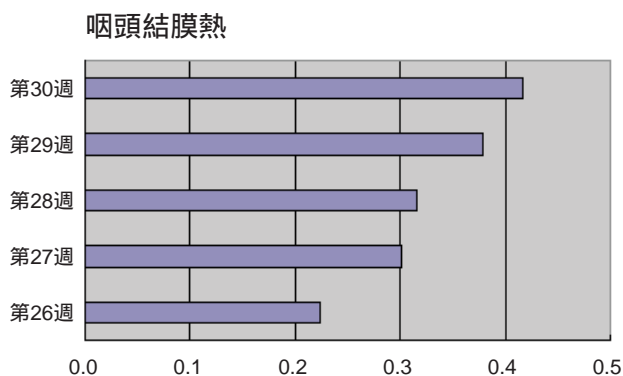
発生動向総数(第30週) / 過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患-5週間の動き

咽頭結膜熱と無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は依然増加傾向にある。流行性角結膜炎の定点当たり報告数はわずかに前週を上回った。ヘルパンギーナは第28週をピークに減少傾向に転じ、流行性耳下腺炎は2週続けて前週の定点当たり報告数より減少した。



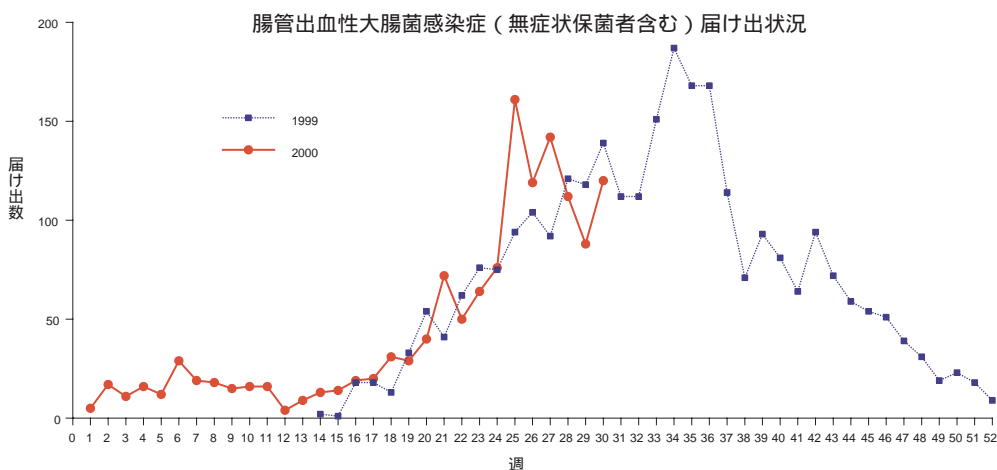
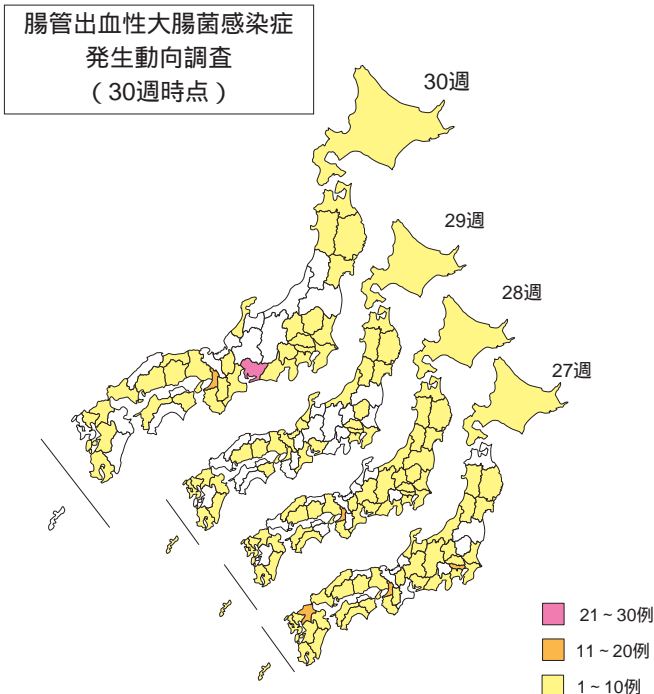
(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2000年第30週(7月24日～7月30日)の、腸管出血性大腸菌感染症報告総数(無症状病原体保有者含む)は120であった(Veroto毒素産生性大腸菌O157、O26の検出状況については、5ページ病原体情報参照)。2000年第1週からの累積患者報告数は1,356となり、東京都、大阪府、福岡県、神奈川県、愛知県、兵庫県など大都市を含む都府県で報告数が多い。



無菌性髄膜炎流行状況

無菌性髄膜炎は基幹病院定点からの報告疾患で、その多くはウイルス性髄膜炎であるため、基本的な流行パターンは主流となるエンテロウイルスのそれに従う。すなわち、初夏から上昇し始め、夏から秋にかけて流行が見られる。今年も5月の連休明け頃より報告数が急増し、依然増加傾向にある。

第30週(7月24日～7月30日)の、全国定点医療機関からの無菌性髄膜炎患者報告総数は110で、定点当たり報告数は0.24であった。患者報告数が多いのは、神奈川県、滋賀県などである。

患者の年齢階級別では、9歳以下の幼児が全体の77%を占め、20歳以上の成人例は全体の約1割程度である。

基幹病院定点からの病原体報告によると、今年第30週までに無菌性髄膜炎から分離されたウイルスで最も多かったのはEV71(89件)、次いでムンプスウイルス(69件)で、3位のエコー16型の8件を大きく上回っている(病原体検出情報事務局に入った地方衛生研究所からの無菌性髄膜炎病原体情報については5ページ病原体情報参照)。



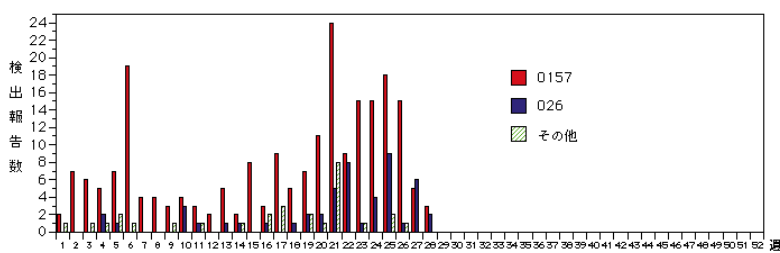
病原体情報

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26

2000年(2000年8月4日現在報告分)

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が220件、O26が51件である。O157は、大阪府(39件)、富山県(17件)、千葉県(14件)、福岡市(14件)の順で報告数が多く、第26週以降では福岡市(7件)、大阪府(6件)、広島市(4件)の順に多い。O26は、島根県(10件)、岩手県(7件)からの報告数が多く、第26週以降では島根県6件、福岡市2件、宮崎県1件の報告があった。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2000年(病原微生物検出情報:2000年8月3日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

手足口病患者から分離されたウイルス

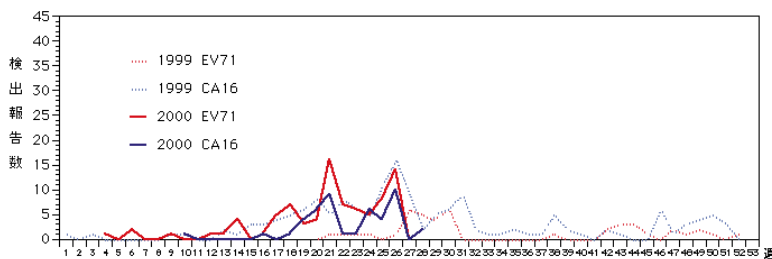
2000年(2000年8月4日現在報告分)

主にエンテロウイルス71型(EV71)とコクサッキーウイルスA16型(CA16)が分離されている。

EV71は75件の分離が報告され、地研別の報告数では熊本県(21件)、愛媛県(19件)、山形県(7件)、北九州市(6件)、愛知県(5件)の順で、九州地方を中心とした西日本で分離報告が多い。

CA16は46件の分離が報告され、地研別では山形県26件、栃木県7件、高知県、大阪府、奈良県、川崎市各3件、大阪市1件であった。

週別エンテロウイルス71型、コクサッキーA16型分離報告数、年別比較(1999年、2000年)
(病原微生物検出情報:2000年8月3日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス

2000年(2000年8月4日現在報告分)

本年第26週以降に分離報告されたウイルスは、エコーウイルス(E)β型が北九州市1件(第26週)、E6が神戸市1件(第26週)、E9が宮崎県1件(第26週)、E11が愛知県1件(第26週)、E18が大阪府1件(第28週)、E25が山形県3件(第27,28週)、大阪府1件(第27週)、E30は千葉県2件(第29週)、コクサッキーウイルスA9型が大阪府2件(第28週)、コクサッキーウイルスB1型が大阪府2件(第26週)、B3型は大阪府1件(第27週)、B4型が新潟県1件(第26週)、B5型は愛媛県1件(第27週)、ムンプスウイルスは大阪市1件(第27週)であった。

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス

2000年(2000年8月4日現在報告分)

本年第26週以降に分離報告されたウイルスは、アデノウイルス1型が新潟県2件(第26,27週)、2型が北九州市1件(第26週)、3型が兵庫県1件(第26週)、5型が千葉県1件(第27週)であった。

手足口病の地域流行 栃木県

栃木県において、2000年5月下旬(第20～21週)に、県北の定点医療機関より搬入された手足口病患者の咽頭ぬぐい液9件から、コクサッキーA群ウイルス16型(CA16)が7株、6型(CA6)が1株分離された。

患者の症状は、発疹9名、発熱4名(37.2～38.44)で、比較的軽症であった。

ウイルス分離培養には、HEp-2、Vero、RD、RD-18S細胞を用いた。それぞれ3代継代したが、細胞変性効果(CPE)は確認されなかった。同時に、乳のみマウスに接種し、2代継代したところ、9件中8件が手足の麻痺等の症状を呈した。ウイルスの同定は、国立感染症研究所分与の同定用免疫抗腹水を用いて、補体結合反応(CF)試験により行ったところ、その結果は、7株がCA16、1株がCA6であった。

栃木県における2000年の手足口病患者の発生動向は、感染症発生動向調査によると、19週から報告数が急増し、26週には総数358で、定点当たり7.8人となった。

当該定点医療機関の手足口病患者の報告数は、19週には2名だったが、25週には63名になり、県内の流行状況と同様の経過をたどった。さらに検体を採取し、ウイルス分離を実施している。

なお、現在県内の他の定点から搬入されている手足口病患者検体から、ウイルスは分離されていない。

栃木県保健環境センター

岡本その子 内藤秀樹 中井定子 新堀精一 長竹一雄

(IASR8月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

手足口病・ヘルパンギーナ患者からのエンテロウイルス71型の分離 北九州市

北九州市において、5月上旬から搬入された手足口病・ヘルパンギーナ患者の咽頭ぬぐい液からエンテロウイルス71型(EV71)が現在(第28週)までに6件分離された。ウイルス分離にはHEp-2、RD、Veroの3細胞を用いたが、Vero細胞のみ細胞変性効果(CPE)が見られた。同定は感染研分与のEV71抗血清を用いて行った。

ヘルパンギーナからの分離は5月中旬の1検体だけで、残り5検体はすべて手足口病患者から検出され、また手足口病患者からはEV71以外のウイルスは分離できていない。

福岡県では5月から手足口病の患者が急激に増加し、また去年冬場の流行と異なる点は、無菌性髄膜炎を併発していることである。当研究所に搬入された手足口病患者24名の検体のうち12名は髄膜炎の患者で髄液のみの搬入であるが、髄液からは現在培養中も含めウイルスは今のところ分離できていない。

髄膜炎を併発するウイルスがEV71であれば、髄液からの早急なウイルス分離が望まれるところである。

北九州市環境科学研究所 山本康之 木村尚志 高橋正規

(IASR8月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

ラッサ熱死亡例に関する公衆衛生上の管理 - オランダ

Eurosurveillance weekly 2000年8月3日

ラッサ熱輸入例が発見されると、患者だけでなく、感染した可能性が考えられる人に対してはかなり大きな不安が広がる。

ラッサ熱の死亡例はオランダで先週報告された(IDWR 2000年29号 海外感染症情報参照)。同様のラッサ熱輸入例は、今年初めにイングランドとドイツで報告されている。

このレポートは、感染した接触者を早く見つけ、早く治療を行うことを確実にする方法を記載している。

2000年7月22日の夕方にライデンの地方保健サービスに報告があり、担当者が密接な接触があったと考えられる人のデータを集めるために直ちに病院(ライデン大学医学センター)を訪れた。患者は外国の病院の手術室で働いていたので、2日後、標準のMRSAプロトコルを使った管理が行われた。

接触者の同定

患者がオランダに到着してからの接触者は航空機乗務員、患者の周囲に座っていた同乗者、家族、診察した開業医とその助手、そして入院後36時間(感染に対する防護がとられていなかった)までに患者を看護した病院スタッフである。

MRSAプロトコルの実施後のスタッフは、感染防護措置がとられているのでリスクがないとみなされた。研究室作業や清掃および洗濯スタッフに対する衛生的な予防措置は、7月21日から適切に行われた。

7月24日に、接触者のリストを作成する任務のコーディネータが各部署から1名ずつ任命された。週末までに132件の接触者がリストされた。

体温

接触者全員に対して、体温は毎日2回記録し、体温が38 以上あればコーディネータにすぐに報告し、他の場合は週2回報告するように要請があった。週末までに、62%(83/132)が体温の記録を提出した。残りの者に対しては、コーディネータが聞き出さなければならなかった。

リバビリン予防投与

長い議論の後、病院スタッフにリバビリン予防投与を行わないことが決定された。それは今までラッサウイルスの院内感染の報告がほとんどなく、リバビリンの予防投与の有効性が証明されていないからである。患者は7月14日に到着した時すでに発症しており、自宅では患者と家族との接触は制限されていたので、家族に対してもリバビリン予防投与は行われなかった。

遺体の管理

患者は7月25日に死亡し、スタッフが衛生的措置を行った。遺体は、埋葬の時点まで鉛棺から袋まで厳重な感染予防のための密封法が考慮されたが、7月28日に2重の袋に入れられ、埋葬された。



感染症の話

最近秋田県においてエキノкокクス症と判断された症例について - 今後の注意点を考える -

秋田大学医学部寄生虫学教室 吉村 堅太郎

発端と経緯

1999年10月に秋田県においてエキノкокクス症(ここでは狭義の多包虫症を指す)が発生したとの報道は、その直前に青森県においてプタでエキノкокクスの感染が発見されたとの報道とも相まって一時全国的な話題となった。

筆者は、このニュースがメディアに流された直後に、患者が入院していたA病院の病理部から、切除された肝臓の病変が果たして多包虫症であるか否かの同定を依頼された。その結果、肝臓の病変内に見いだされた虫体はエキノкокクス(多包虫)ではなく、形態学的に肝蛭(*Fasciola* sp.)の幼若虫であることが分かった。筆者らはその後、本症例がエキノкокクス症であると診断された時に用いられた血清をも入手し、dot-ELISA(12種の蠕虫抗原)、ELISA(肝蛭、多包虫、日本住血吸虫の抗原)、Western blotting(肝蛭抗原)、ゲル内沈降反応(肝蛭抗原)を用いて血清学的な検証をも試みた。その際には、肝蛭症陽性患者血清をも入手し、陽性対照とした。その結果、本症例はdot-ELISAで肝蛭抗原に対して強陽性を示し、その反応は陽性対照血清のそれより強いものであった。dot-ELISAでは、患者血清ならびに陽性対照血清のいずれもがマンソン裂頭条虫のプレロセルコイド抗原に対してごく弱い交叉反応を示した。他方、ELISAでは、多包虫抗原に対しても陽性反応を示したが、肝蛭抗原に対する反応の方が著しく高く、多包虫抗原に対する反応は交叉反応と判定された。また、ゲル内沈降反応では、患者血清の沈降線と陽性対照血清の沈降線が完全に融合していることから、本症例は血清学的にも肝蛭症であることが確定した。

それでは、本症例においてなぜ当初エキノкокクス症と診断されたかを考察し、今後、エキノкокクス症のように、感染症新法で医師に届け出義務のある4類感染症の届け出の場合には、どのような注意が必要かについて提言を試みたい。

*日本産肝蛭には肝蛭(*Fasciola hepatica*)と巨大肝蛭(*F. gigantica*)の2種類が入り混じって分布していると考えられており、本症例の虫体は成熟虫でもなく、また全体標本を検索することもできなかったため、あえて虫種の同定は控え、*Fasciola* sp.としておく。

症状等

まず初めに、エキノкокクス症と肝蛭症の症状、検査所見などについて略述する。多包虫症は緩慢に経過し、臨床的に肝の腫大を認めるまでに数年から10年位を要する(潜伏期)。肝腫大の増大とともに右上腹部痛、季肋部不快感、緊張感を訴え、肝腫大は4～5横指に及び、肝障害を伴うようになる(進行期)。末期になると肝障害がさらに進行し、腹水、下肢の浮腫、黄疸などを伴い、多くは悪液質に陥り、肝性昏睡で死亡する。好酸球増多は認めるものの、その程度は単包虫症より一般に低い。表面に凹凸のある大小不同の硬い肝腫瘤を触知し、腹腔鏡検査では、病巣は灰白色ないし黄白色を呈し、病巣の周辺部に散在する小嚢胞が特徴である。腹部単純X線撮影や超音波検査で石灰化像、また、X線CTで腫瘤による不整な充実性病巣と中心部の液化や石灰化像、小嚢胞集合や大嚢胞が認められる。

一方、肝蛭症では、無症状のこともあるが、通常、急性期には虫体の肝通過に伴う肝実質の壊死や出血、細胞浸潤等を招来し、胆石様の心窩部または右季肋部の疝痛様発作を示す。発熱

を見るものも多く、悪心、嘔吐、咳、食欲不振、体重減少、黄疸、蕁麻疹などの症状がこれに続く。血液像では、白血球増多、特に好酸球増多が著明で、時に80%に達する。虫体が、胆管に定着すると慢性期に移行し、持続的右季肋部痛、肝腫大、不規則な発熱、黄疸が現れ、胆石症、胆嚢炎を伴うこともある。成虫寄生期には十二指腸ゾンデで採取される胆汁内容物中や糞便中に大型の虫卵(肝蛭卵は125～150×65～90 μm、巨大肝蛭卵は150～190×75～95 μm)が検出される。肝蛭症では時に皮下、腹腔内、その他の異所寄生にも注意が必要である。腹腔鏡検査では肝表面に白色ないし黄色の斑点や隆起が見られる。腹部の超音波、CTでは肝内に嚢胞様低エコー像を1個ないし複数個認め、直径は1cmから数cmに及び、境界不整で内容も不均一である。

問題点

さて、今回の症例では、主治医が某研究所に血清診断の依頼を行った際、当該患者は「臨床的にエキノコックス症の疑いがあるので検査してほしい」と血清を送付したもののようである。一方、研究所側もこの依頼に応じて送られてきた血清について多包虫抗原を用いたELISA法とWestern blotting法を行い、前者で疑陽性、後者で陽性との結果が出たので、それを主治医に報告したものである。新法での報告基準は、診断した医師の判断により、症状や画像所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体に対する抗体が検出されれば届け出ることになっているので、今回も手続き上の問題点はなかったと考えられる。

しかし、エキノコックス症の症例が少ない地域においてエキノコックス症について経験の少ない医師が本症を疑い、血清診断を依頼するときには、様々な注意が必要である。例えば、血清診断を依頼するときには、患者の病歴、症状、旅行歴等はもちろん、超音波検査、X線CTなどの画像診断所見や血液所見、生化学検査所見をも併せて提示することが望ましく、検査機関の医師もこの点を考慮し助言することが望ましい。さらに、血清診断の前にエキノコックス症と他の寄生虫性疾患との類症鑑別についてあらかじめ経験を有する研究機関に問い合わせを行うとよい。

エキノコックス症について特に詳しい研究機関としては北海道立衛生研究所、旭川医科大学寄生虫学教室、北海道大学大学院獣医学研究科寄生虫学教室、弘前大学寄生虫学教室、横浜市立大学衛生学教室があり、その他の寄生蠕虫疾患の検査や問い合わせに応じてもらえる機関としては宮崎医科大学、東京医科歯科大学、杏林大学、私ども秋田大学等の寄生虫学または熱帯医学関係教室、ならびに国立感染症研究所、国立公衆衛生院、奈良県衛生研究所等がある。

今回の症例は、1999(平成11)年6月4日に右下腹部痛および右側腹部痛が出現した際、A病院で腹部X線検査、腹部超音波検査等を受けており、特に異常を指摘されていなかった。ところが、9月に再び腹痛が出現し、近医で検査を受けた際胃ポリープの存在を指摘され、9月9日にポリープの内視鏡的切除を目的としてA病院に入院した。その際には、著しい好酸球増多症(62.9%)が発見され、画像診断で肝に多房性の膿瘍を指摘され、臨床的にエキノコックス症が疑われたと言うものである。つまり、6月の時点では、肝に明らかな病変を認めておらず、3カ月後にこのような巨大な病変が出現したことを考えれば、エキノコックス症の可能性は否定的である。従って、たとえ多包虫抗原に対して血清学的に陽性反応を示したとしてもエキノコックス症の可能性は少ない。今後、臨床医にとってエキノコックス症の場合、病変形成までに通常5年～10年の歳月を要することの認識が不可欠である。今回の症例で、もう一つ重要なことは、極めて高い末梢血好酸球レベルであり、エキノコックス症でも多かれ少なかれ好酸球増多が起こるが、このように高い好酸球レベルは通常包虫以外の内蔵幼虫移行症で認められるものである。

さらに、決定的に重要なことは、もし肝臓の病変部分が外科的に切除されている場合や、生検がなされている場合には、最終的な診断はあくまでも病理組織学的に行われるべきことである。つまり、組織学的にエキノコックス虫体が認められるか否かが重要である。

結 論

今回の症例から学ばねばならないことは、臨床的にたとえエキノコックス症が疑われていても、最初のスクリーニングの段階では、肝臓寄生の蠕虫あるいは虫体の体内移行中に肝臓に傷害が起こる可能性のある蠕虫を念頭に置いて多種類の抗原を用いた血清学的試験を試みるべきことであろう。その際に用いる血清学的方法はdot-ELISAでも他の血清学的方法でもかまわない。血清診断を依頼される方では、詳細なデータを提示され、診断について助言を求められぬ限り、主治医の依頼通りに検査する他はない。血清学的検査はあくまでも補助診断の価値しかなく、最終的には主治医が総合的に判断する他ないことを銘記すべきである。

なおエキノコックス症については、IDWR 1999年第41週(10月11日～17日)通巻第1巻第28号「感染症の話」に解説記事が掲載されている。

[編集長よ]: 本症例は、IDWR 1999年第41週(10月11日～17日)通巻第1巻第28号、今週の発生動向総覧-4類感染症(全数報告)の中で、秋田県より報告のあったエキノコックスの1例として掲載されたものである。本症例はその後の詳細な検討によりエキノコックス症が否定され、感染症の届け出報告より削除された。最終診断(肝蛭症)に至る経過は、今後類似症例に接した場合の鑑別診断上、多くの示唆に富むものと考え、秋田大学吉村教授に寄稿をお願いしたものである。

これまでのIDWRにおける感染症の話は、感染症法に規定された疾患についての解説を掲載してきたが、今後このような解説、トピックスなども本欄に掲載したいと考えている。]



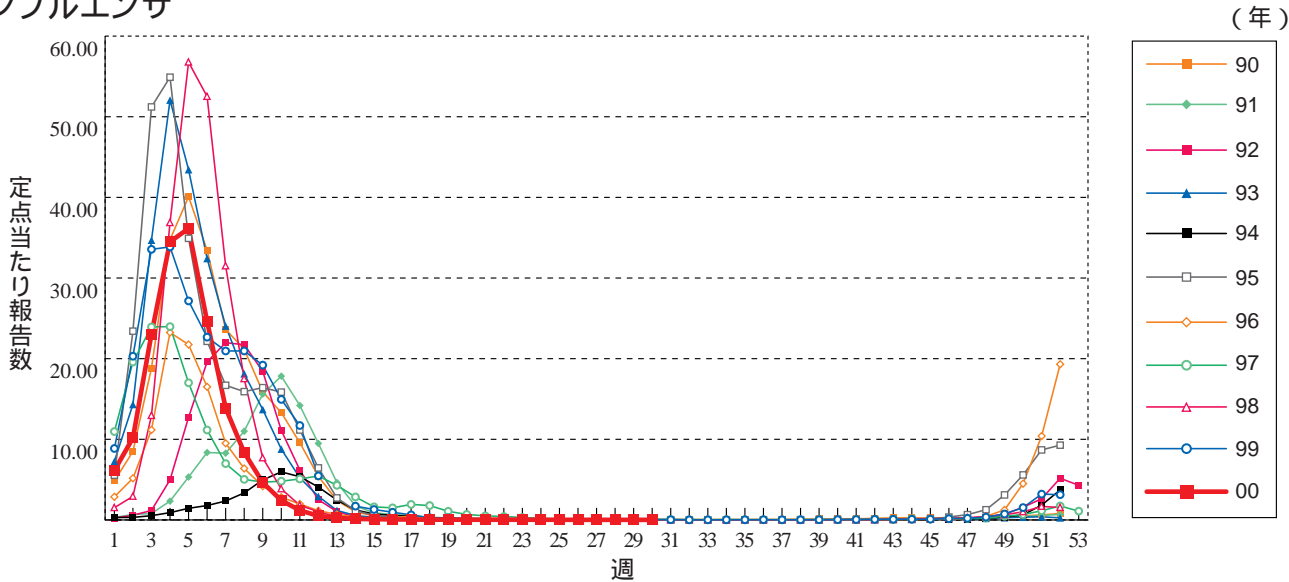
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

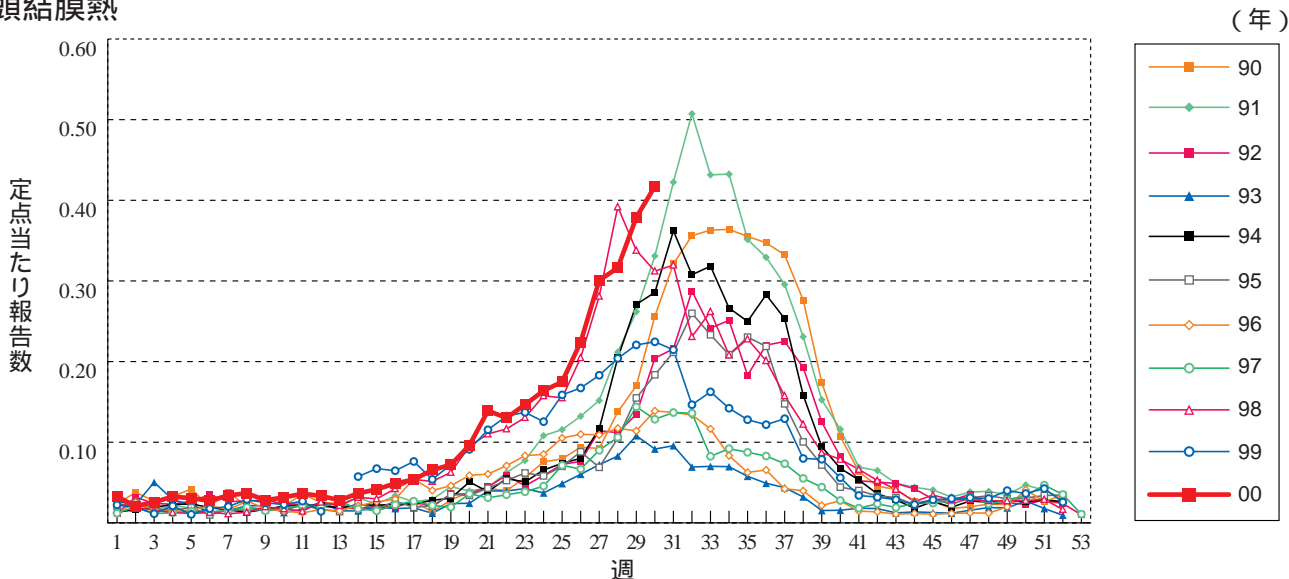
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(30週)

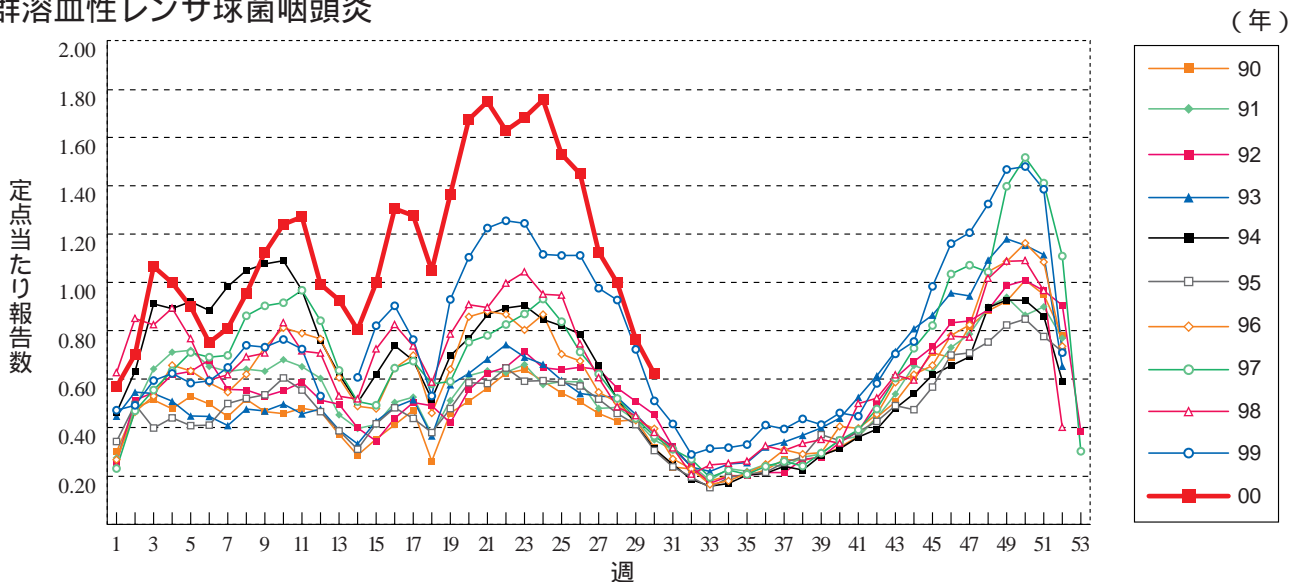
インフルエンザ



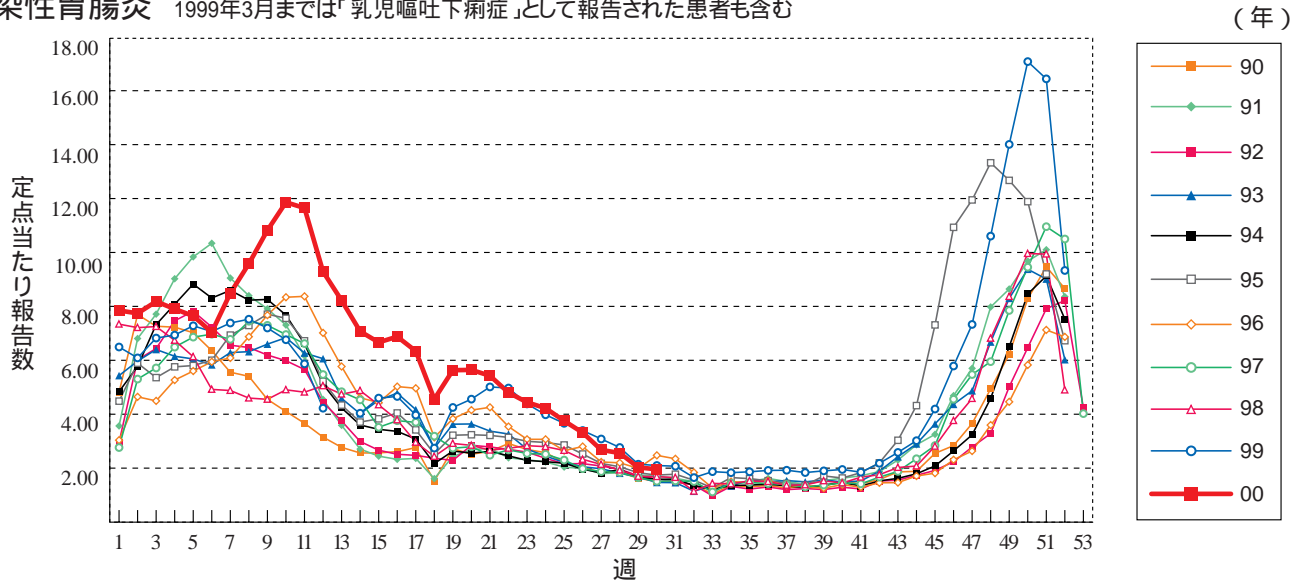
咽頭結膜熱



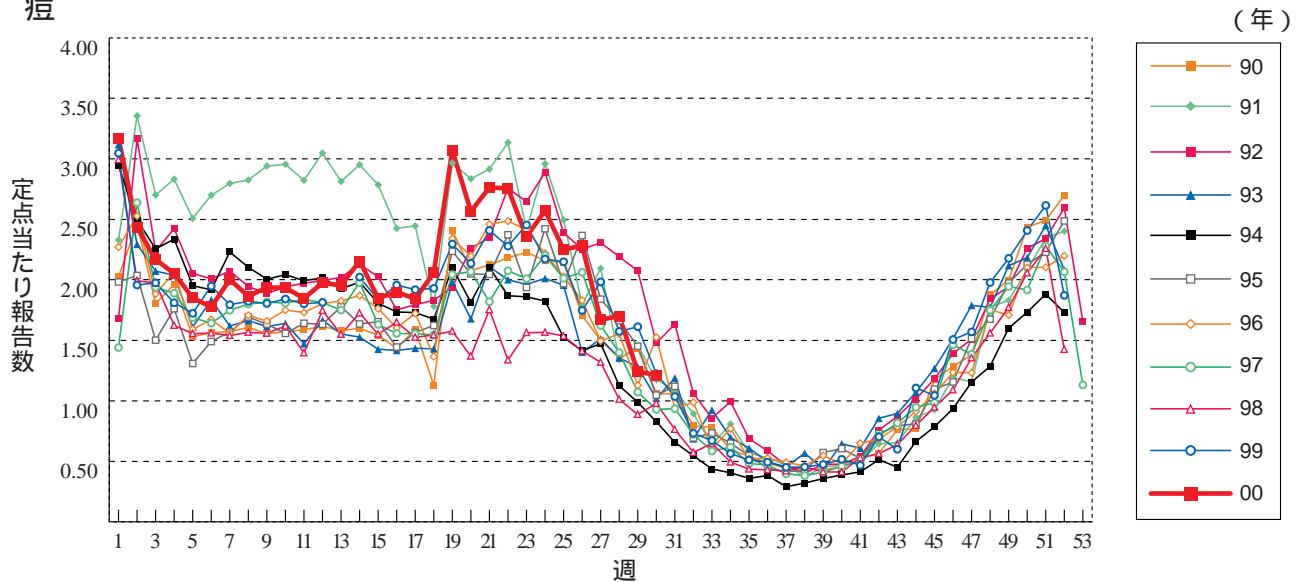
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



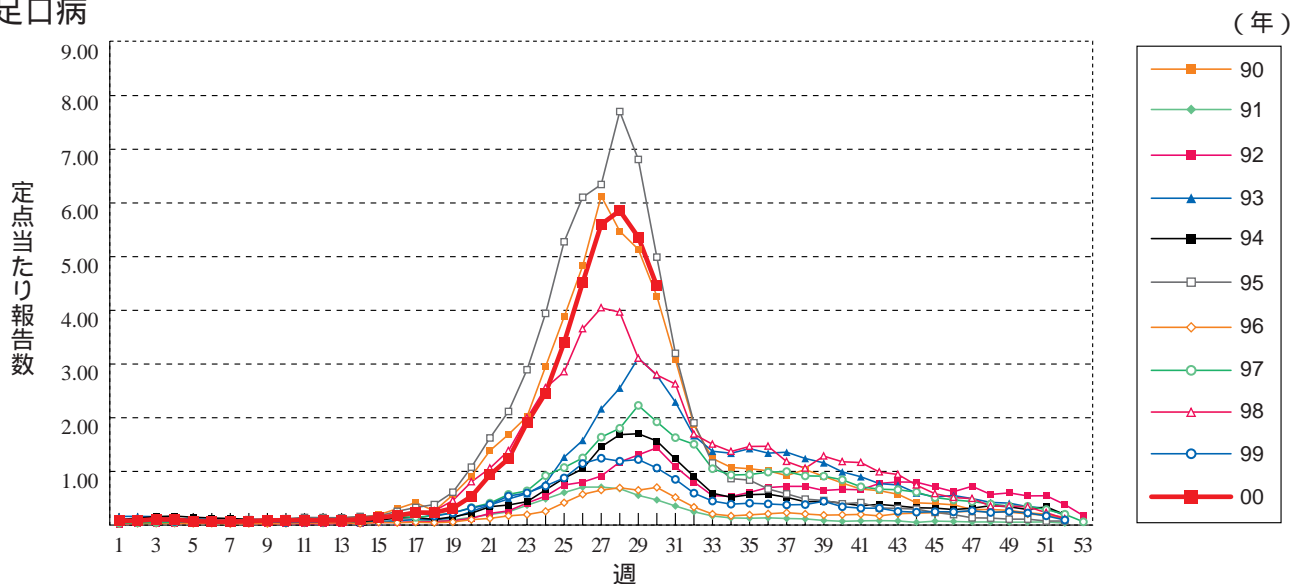
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



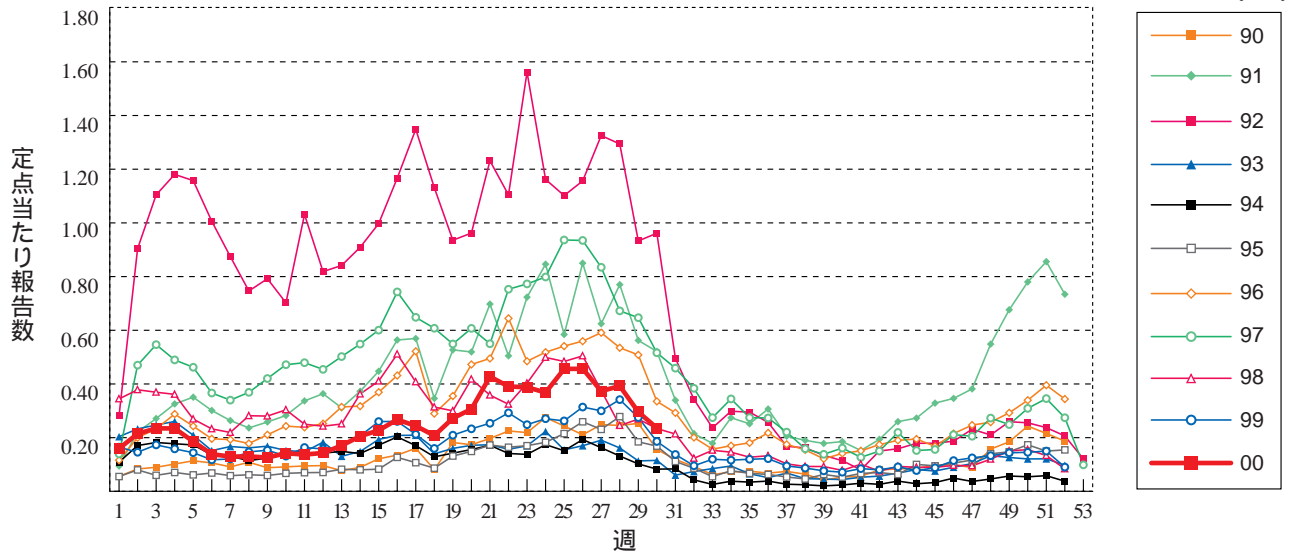
水痘



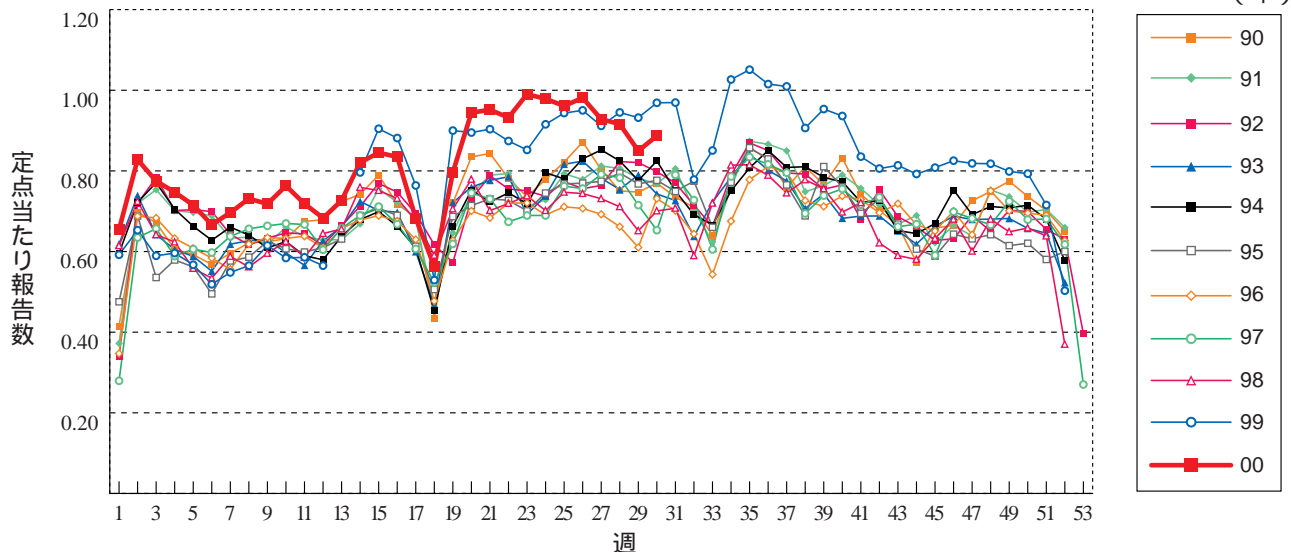
手足口病



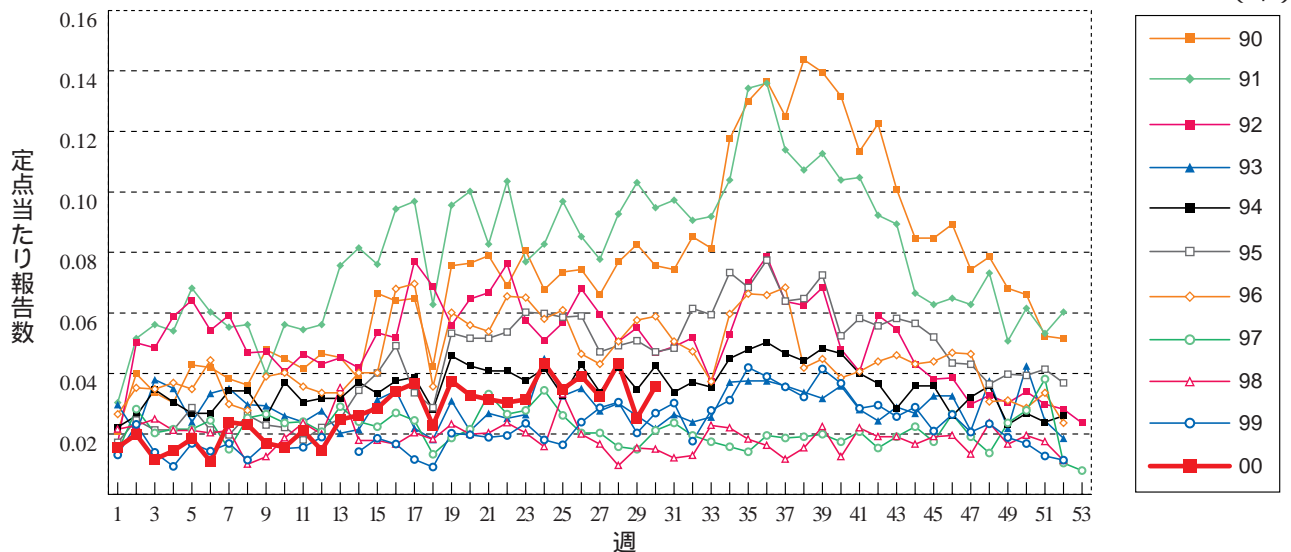
伝染性紅斑



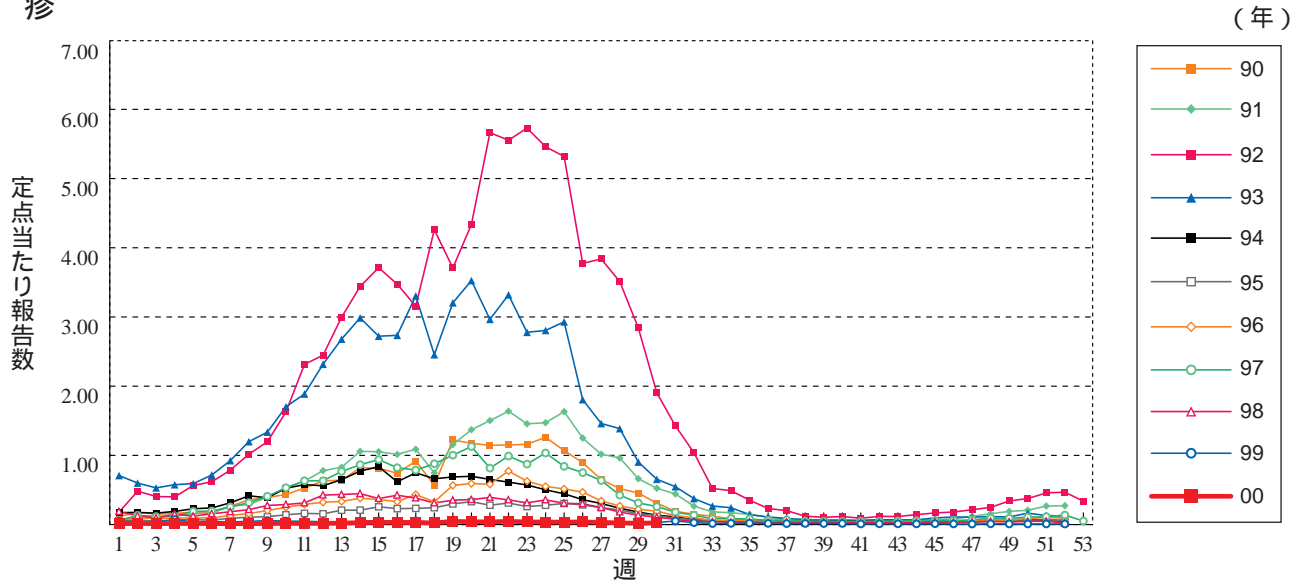
突発性発疹



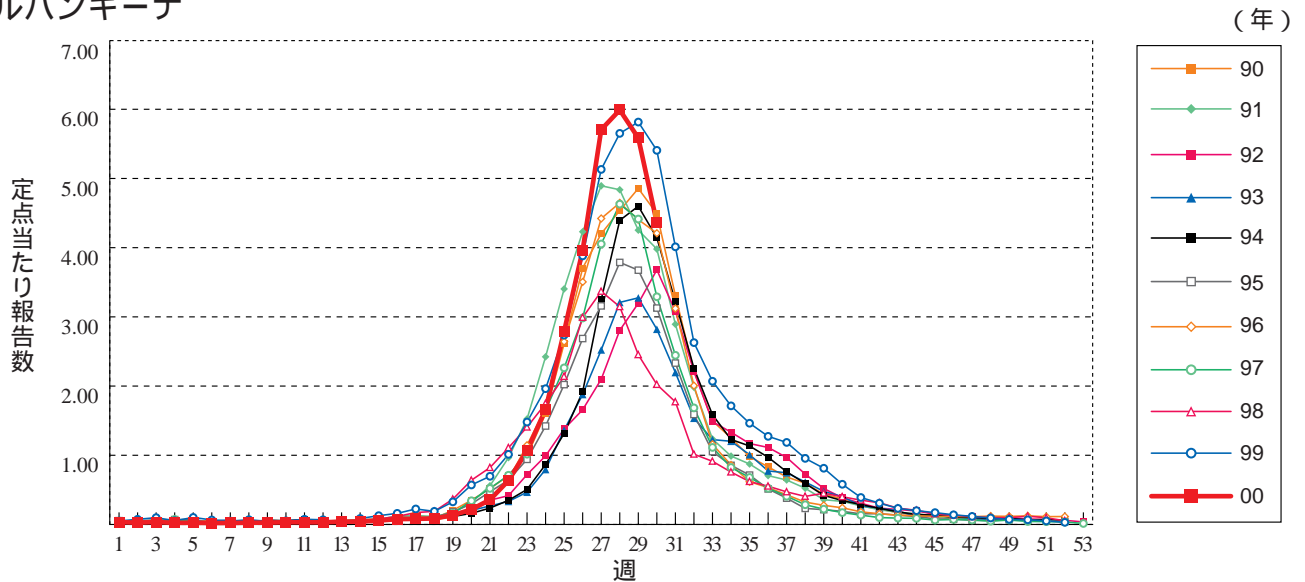
百日咳



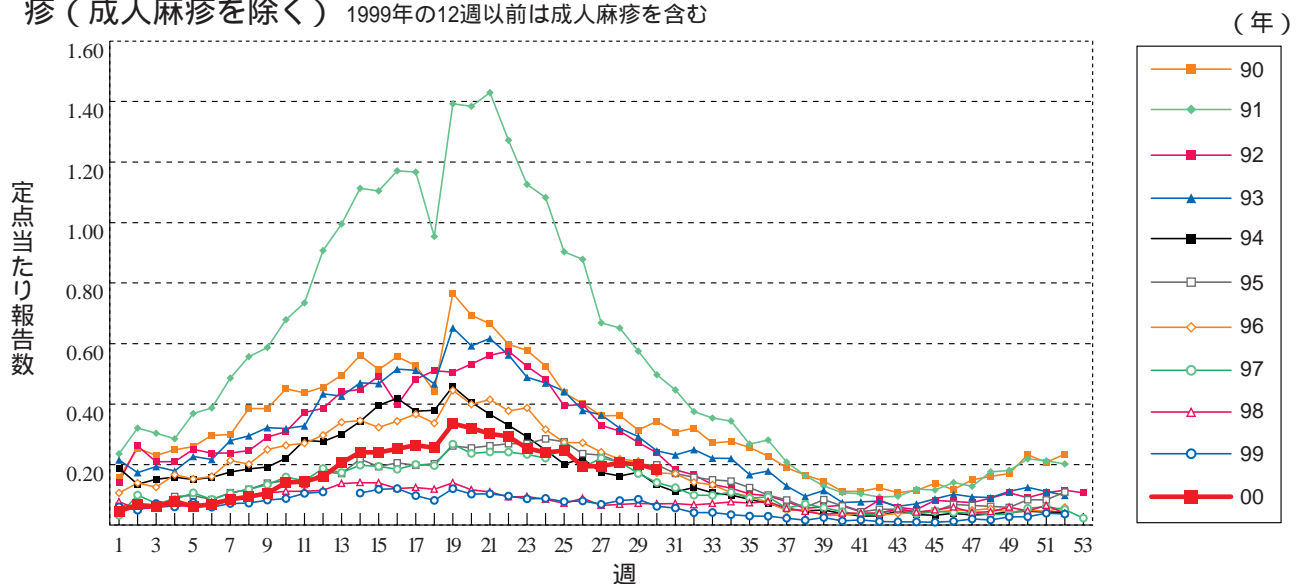
風 疹



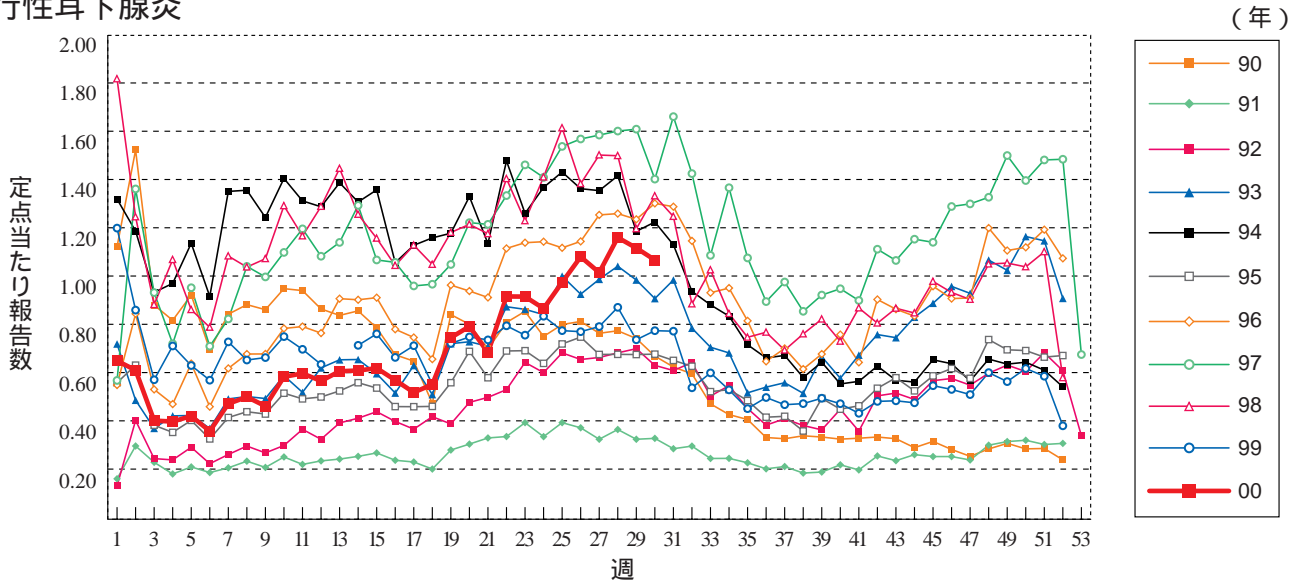
ヘルパンギーナ



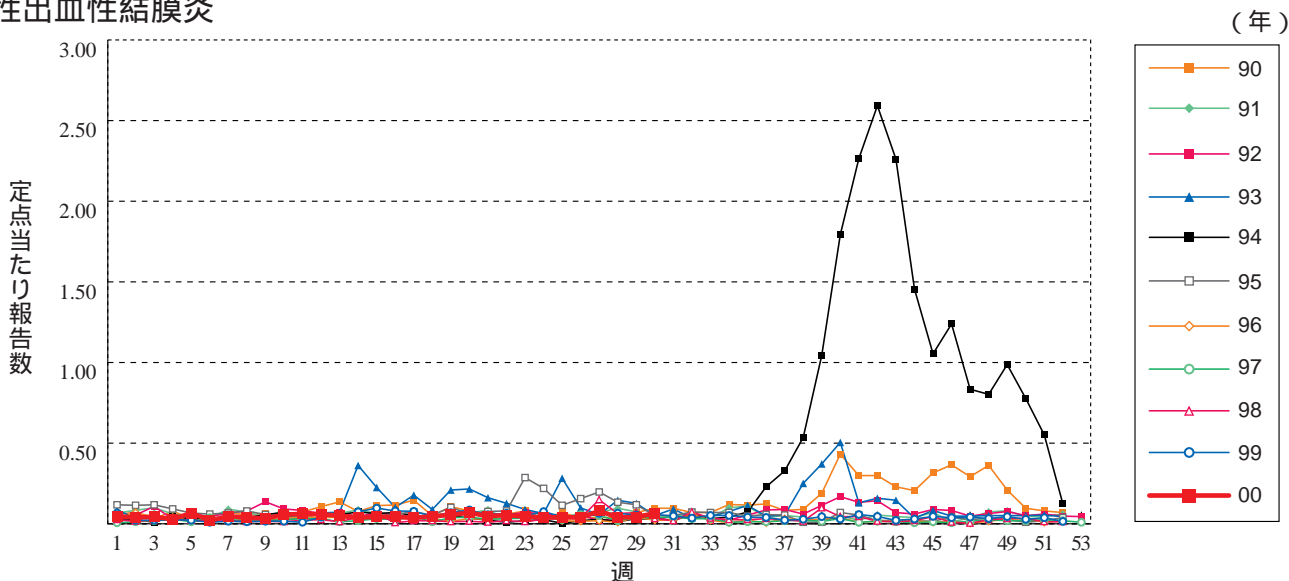
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



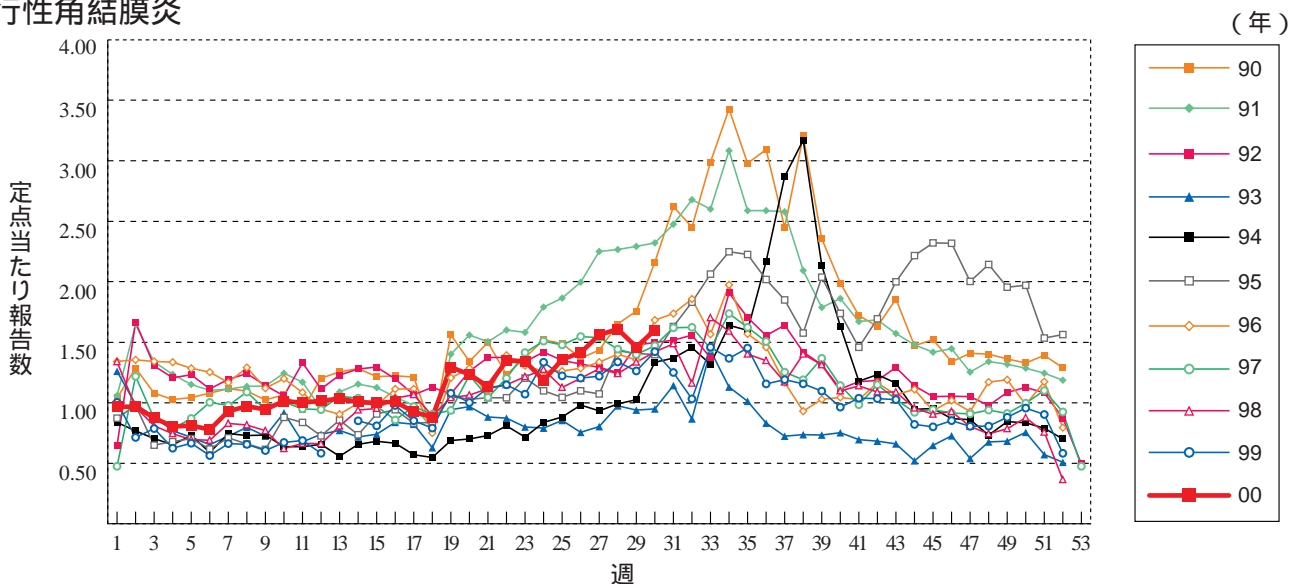
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

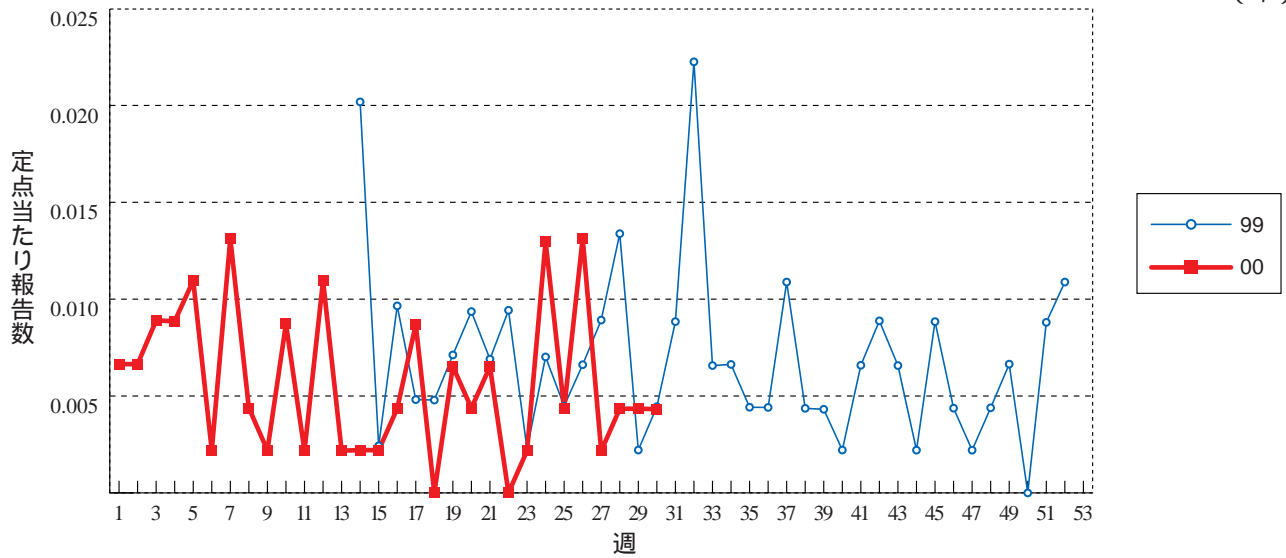


流行性角結膜炎



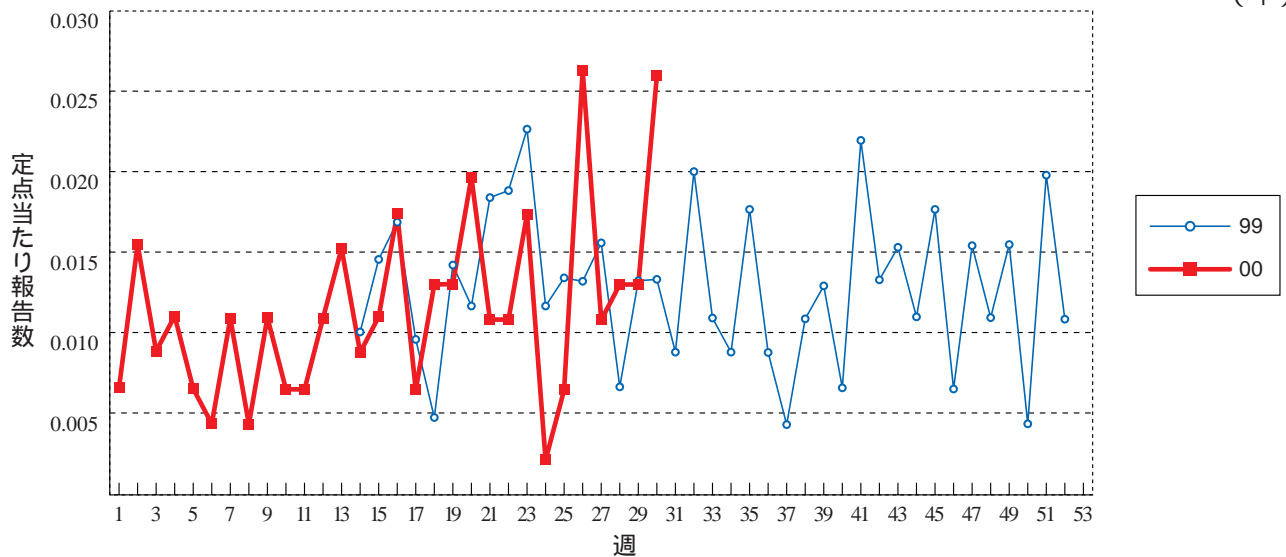
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



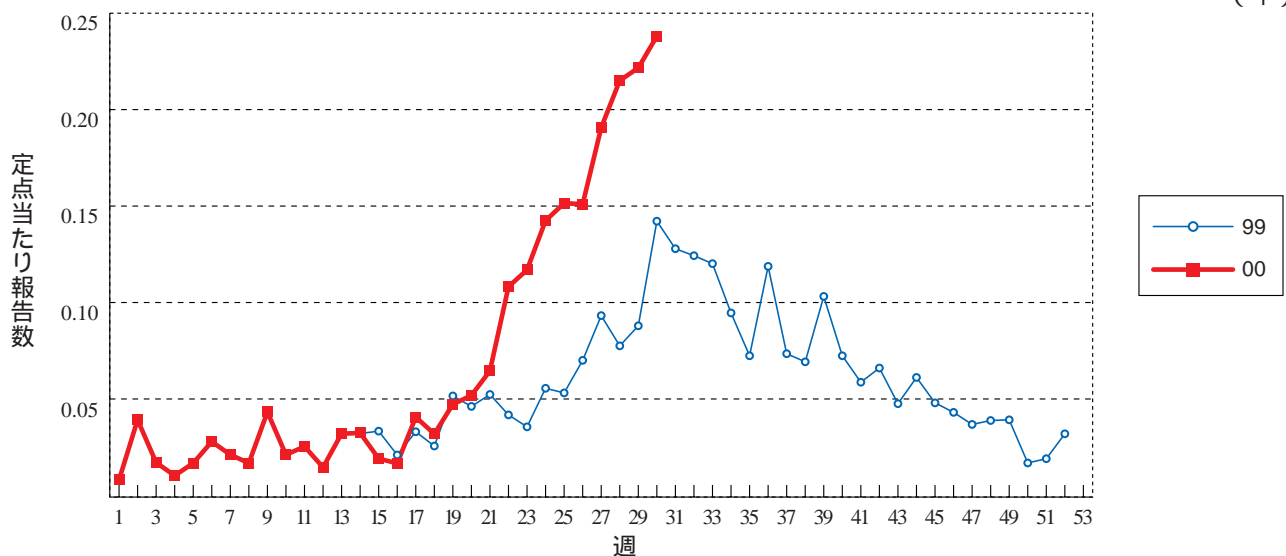
細菌性髄膜炎

(年)



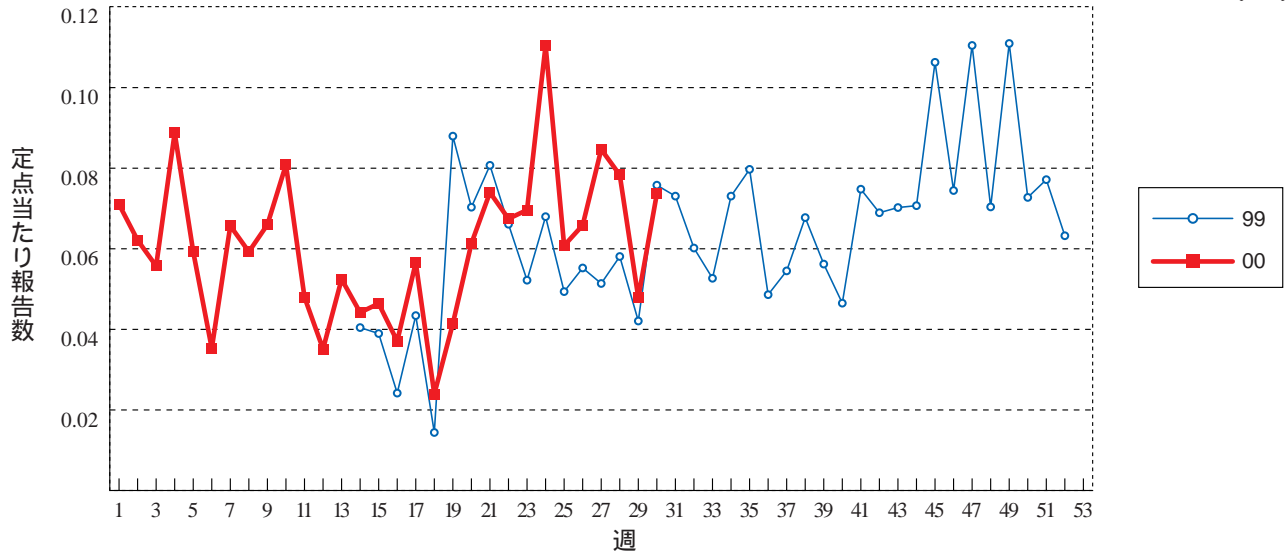
無菌性髄膜炎

(年)



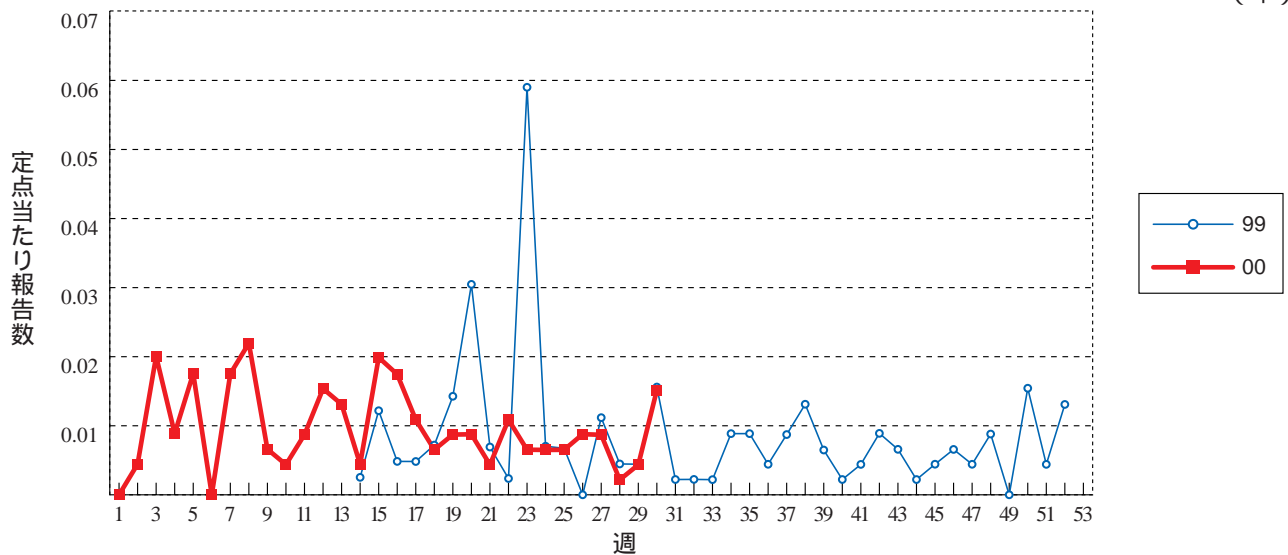
マイコプラズマ肺炎

(年)



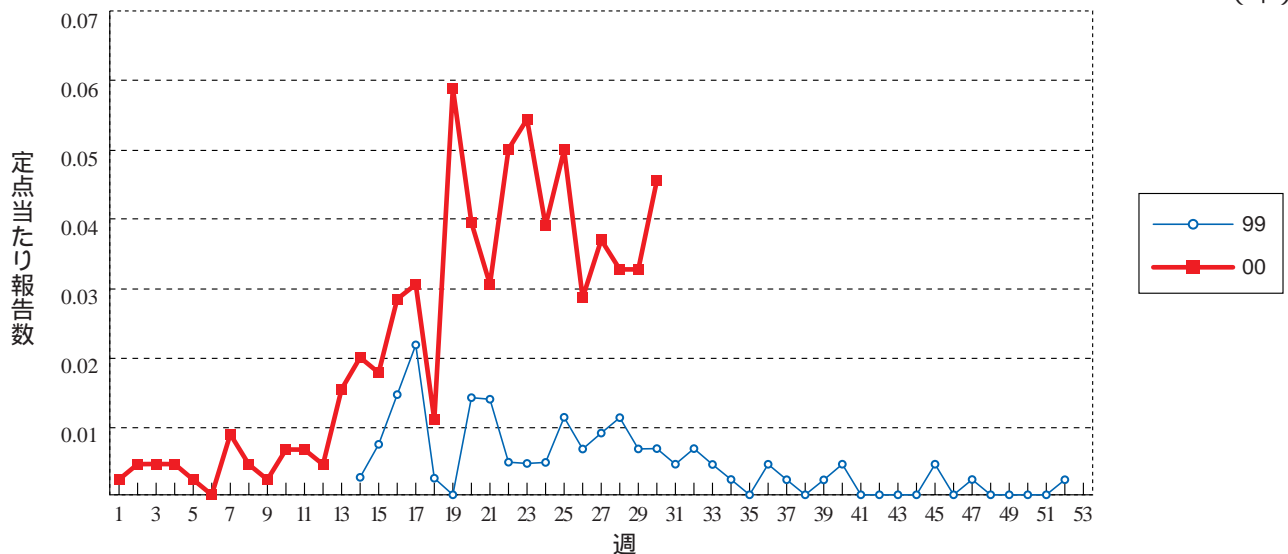
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





30週のデータ

注)表中の報告数は8月3日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年30週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	22	12	404	1	60	1	9
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	-	2	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	15	-	2	-	1	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	79	-	10	-	3	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	26	-	4	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	1	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	8	-	3	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	29	1	5	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	13	-	1	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	39	-	6	1	3	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	7	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	5	-	3	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	21	-	1	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年30週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	120	1356	6	210	-	10	-	-	-	12	-	-	8	605
北海道	-	-	-	-	8	44	-	4	-	9	-	-	-	-	-	-	-	9
青森県	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	1	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	1	15	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
秋田県	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
山形県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	2	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	1	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
埼玉県	-	-	-	-	1	38	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6
千葉県	-	-	-	-	1	39	1	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10
東京都	-	-	-	-	10	108	1	55	-	-	-	-	-	3	-	-	-	68
神奈川県	-	-	-	-	1	113	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
新潟県	-	-	-	-	-	10	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	3	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
福井県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	4	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
長野県	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
静岡県	-	-	-	-	4	19	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
愛知県	-	-	-	-	26	94	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	4	21
三重県	-	-	-	-	3	16	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	1	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
京都府	-	-	-	-	-	18	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
大阪府	-	-	-	-	14	121	1	39	-	-	-	-	-	1	-	-	-	67
兵庫県	-	-	-	-	10	69	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	1	67
奈良県	-	-	-	-	1	11	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
和歌山県	-	-	-	-	2	29	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	3	37	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	20
広島県	-	-	-	-	3	48	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
山口県	-	-	-	-	1	12	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30
香川県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
愛媛県	-	-	-	-	2	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
高知県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福岡県	-	-	-	-	7	90	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
佐賀県	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
大分県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	1	-	-	-	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
鹿児島県	-	-	-	-	2	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
沖縄県	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年30週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	6	-	-	-	2	2	53	-	29	8	407	-	1	-	58	-	-
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	26	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	20	-	-	-	4	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	3	-	27	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	1	7	-	2	4	162	-	1	-	9	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	28	-	-	-	7	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	1	3	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	10	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	24	-	-	-	7	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	2	10	-	-	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年30週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	8	-	1	-	-	2	211	2	10	-	14	-	-	-	-	5	429
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	12
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	8	-	-	-	4	-	-	-	-	-	12
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	68
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	84
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	4	-	-	-	-	-	26
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	37
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年30週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	46	2	13	-	-	-	-	-	-	-	-	1	95	-	8	3	95
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	3
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
千葉県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3
東京都	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	39	-	-	-	7
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	1	2
兵庫県	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
奈良県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年30週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	45	0.01	1248	0.42	1862	0.62	5886	1.97	3627	1.21	13306	4.45	704	0.24	2653	0.89	107	0.04
北海道	-	-	18	0.12	140	0.97	184	1.27	235	1.62	836	5.77	82	0.57	115	0.79	1	0.01
青森県	1	0.02	14	0.34	28	0.68	38	0.93	51	1.24	25	0.61	8	0.20	26	0.63	-	-
岩手県	1	0.02	3	0.08	9	0.24	36	0.95	42	1.11	19	0.50	31	0.82	25	0.66	1	0.03
宮城県	2	0.02	10	0.17	49	0.83	167	2.83	77	1.31	67	1.14	31	0.53	77	1.31	-	-
秋田県	-	-	5	0.14	29	0.83	61	1.74	40	1.14	39	1.11	2	0.06	19	0.54	1	0.03
山形県	-	-	2	0.07	34	1.17	60	2.07	51	1.76	424	14.62	21	0.72	40	1.38	6	0.21
福島県	-	-	6	0.13	30	0.63	66	1.38	72	1.50	97	2.02	8	0.17	42	0.88	-	-
茨城県	1	0.01	4	0.06	41	0.57	137	1.90	85	1.18	250	3.47	14	0.19	37	0.51	-	-
栃木県	-	-	9	0.20	16	0.36	68	1.51	36	0.80	269	5.98	3	0.07	31	0.69	-	-
群馬県	-	-	4	0.06	55	0.89	93	1.50	106	1.71	295	4.76	10	0.16	49	0.79	-	-
埼玉県	1	0.00	86	0.54	120	0.75	293	1.83	192	1.20	1081	6.76	44	0.28	125	0.78	2	0.01
千葉県	-	-	29	0.22	79	0.60	174	1.33	184	1.40	353	2.69	55	0.42	117	0.89	3	0.02
東京都	-	-	31	0.22	30	0.21	195	1.37	83	0.58	509	3.58	29	0.20	70	0.49	4	0.03
神奈川県	11	0.04	38	0.18	88	0.43	255	1.24	254	1.23	1243	6.03	96	0.47	213	1.03	9	0.04
新潟県	-	-	6	0.10	72	1.20	101	1.68	98	1.63	245	4.08	16	0.27	54	0.90	2	0.03
富山県	-	-	11	0.38	26	0.90	46	1.59	21	0.72	51	1.76	-	-	26	0.90	-	-
石川県	-	-	11	0.38	10	0.34	105	3.62	35	1.21	52	1.79	4	0.14	28	0.97	-	-
福井県	-	-	2	0.09	15	0.68	118	5.36	35	1.59	47	2.14	1	0.05	23	1.05	1	0.05
山梨県	1	0.02	8	0.32	8	0.32	41	1.64	16	0.64	20	0.80	3	0.12	11	0.44	-	-
長野県	-	-	24	0.47	44	0.86	107	2.10	95	1.86	288	5.65	14	0.27	46	0.90	1	0.02
岐阜県	-	-	19	0.36	48	0.91	49	0.92	74	1.40	38	0.72	4	0.08	33	0.62	3	0.06
静岡県	-	-	98	1.14	47	0.55	232	2.70	81	0.94	428	4.98	11	0.13	98	1.14	3	0.03
愛知県	-	-	30	0.16	105	0.58	316	1.74	192	1.05	294	1.62	60	0.33	168	0.92	2	0.01
三重県	-	-	29	0.64	24	0.53	189	4.20	97	2.16	268	5.96	3	0.07	59	1.31	-	-
滋賀県	1	0.02	3	0.10	36	1.16	38	1.23	34	1.10	115	3.71	1	0.03	27	0.87	-	-
京都府	-	-	25	0.33	35	0.46	312	4.11	86	1.13	370	4.87	6	0.08	50	0.66	-	-
大阪府	5	0.02	99	0.52	106	0.56	310	1.64	189	1.00	832	4.40	10	0.05	149	0.79	7	0.04
兵庫県	-	-	91	0.72	69	0.54	320	2.52	191	1.50	1165	9.17	47	0.37	111	0.87	11	0.09
奈良県	-	-	15	0.43	13	0.37	48	1.37	29	0.83	318	9.09	1	0.03	19	0.54	-	-
和歌山県	-	-	111	3.58	13	0.42	46	1.48	54	1.74	250	8.06	-	-	28	0.90	2	0.06
鳥取県	-	-	6	0.32	57	3.00	90	4.74	29	1.53	122	6.42	2	0.11	28	1.47	1	0.05
島根県	-	-	2	0.09	4	0.17	50	2.17	9	0.39	14	0.61	2	0.09	18	0.78	1	0.04
岡山県	-	-	73	1.35	24	0.44	120	2.22	49	0.91	96	1.78	7	0.13	50	0.93	7	0.13
広島県	2	0.02	58	0.77	29	0.39	133	1.77	73	0.97	249	3.32	6	0.08	45	0.60	1	0.01
山口県	-	-	28	0.57	38	0.78	121	2.47	75	1.53	224	4.57	6	0.12	47	0.96	14	0.29
徳島県	-	-	17	0.74	10	0.43	14	0.61	23	1.00	77	3.35	-	-	16	0.70	-	-
香川県	1	0.02	71	2.22	9	0.28	35	1.09	18	0.56	199	6.22	4	0.13	35	1.09	5	0.16
愛媛県	-	-	40	1.03	23	0.59	122	3.13	48	1.23	164	4.21	1	0.03	39	1.00	1	0.03
高知県	-	-	13	0.42	15	0.48	46	1.48	23	0.74	38	1.23	-	-	24	0.77	3	0.10
福岡県	-	-	32	0.41	50	0.63	268	3.39	105	1.33	513	6.49	20	0.25	105	1.33	2	0.03
佐賀県	-	-	1	0.04	14	0.61	40	1.74	43	1.87	83	3.61	7	0.30	41	1.78	1	0.04
長崎県	-	-	-	-	14	0.32	51	1.16	34	0.77	238	5.41	1	0.02	38	0.86	-	-
熊本県	2	0.02	4	0.08	25	0.51	84	1.71	92	1.88	111	2.27	6	0.12	62	1.27	-	-
大分県	-	-	29	0.81	41	1.14	144	4.00	62	1.72	350	9.72	12	0.33	55	1.53	3	0.08
宮崎県	1	0.02	17	0.46	40	1.08	179	4.84	47	1.27	203	5.49	7	0.19	56	1.51	2	0.05
鹿児島県	15	0.15	9	0.15	22	0.37	163	2.72	40	0.67	310	5.17	5	0.08	64	1.07	7	0.12
沖縄県	-	-	7	0.21	28	0.82	21	0.62	22	0.65	27	0.79	3	0.09	14	0.41	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年30週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	76	0.03	13055	4.36	551	0.18	3205	1.07	41	0.07	1007	1.60	2	0.00	12	0.03	110	0.24
北海道	2	0.01	638	4.40	19	0.13	186	1.28	-	-	24	0.83	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.05	133	3.24	-	-	54	1.32	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	199	5.24	4	0.11	24	0.63	1	0.08	13	1.08	-	-	-	-	1	0.05
宮城県	7	0.12	695	11.78	2	0.03	11	0.19	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
秋田県	3	0.09	243	6.94	1	0.03	18	0.51	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
山形県	1	0.03	67	2.31	-	-	9	0.31	-	-	3	0.38	-	-	1	0.11	1	0.11
福島県	4	0.08	432	9.00	-	-	15	0.31	-	-	20	1.67	-	-	-	-	-	-
茨城県	8	0.11	336	4.67	8	0.11	35	0.49	-	-	56	3.50	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	161	3.58	3	0.07	16	0.36	-	-	29	2.42	-	-	-	-	3	0.50
群馬県	-	-	265	4.27	1	0.02	166	2.68	-	-	20	1.43	1	0.10	-	-	2	0.20
埼玉県	2	0.01	960	6.00	21	0.13	275	1.72	2	0.06	58	1.61	-	-	1	0.11	1	0.11
千葉県	3	0.02	827	6.31	13	0.10	233	1.78	3	0.09	74	2.11	-	-	-	-	1	0.08
東京都	2	0.01	571	4.02	18	0.13	104	0.73	-	-	50	3.57	1	0.04	-	-	3	0.12
神奈川県	9	0.04	1394	6.77	31	0.15	280	1.36	2	0.05	112	2.67	-	-	-	-	16	1.45
新潟県	-	-	685	11.42	-	-	84	1.40	1	0.11	5	0.56	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	132	4.55	2	0.07	6	0.21	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	50	1.72	5	0.17	4	0.14	-	-	7	1.00	-	-	-	-	1	0.20
福井県	1	0.05	114	5.18	2	0.09	24	1.09	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-
山梨県	-	-	108	4.32	-	-	3	0.12	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	464	9.10	2	0.04	37	0.73	-	-	17	1.70	-	-	1	0.09	3	0.27
岐阜県	-	-	290	5.47	18	0.34	53	1.00	-	-	8	0.73	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	463	5.38	2	0.02	186	2.16	-	-	22	1.05	-	-	-	-	4	0.44
愛知県	2	0.01	516	2.84	30	0.16	221	1.21	6	0.17	37	1.06	-	-	3	0.23	9	0.69
三重県	-	-	149	3.31	9	0.20	45	1.00	-	-	12	1.00	-	-	-	-	5	0.56
滋賀県	2	0.06	53	1.71	12	0.39	19	0.61	5	0.71	7	1.00	-	-	-	-	10	1.43
京都府	2	0.03	154	2.03	4	0.05	56	0.74	-	-	21	1.17	-	-	-	-	-	-
大阪府	8	0.04	391	2.07	103	0.54	153	0.81	5	0.10	66	1.27	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	723	5.69	20	0.16	99	0.78	1	0.03	43	1.23	-	-	1	0.07	9	0.64
奈良県	1	0.03	17	0.49	27	0.77	29	0.83	-	-	25	2.78	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	-	-	20	0.65	4	0.13	11	0.35	-	-	6	1.50	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	75	3.95	1	0.05	30	1.58	-	-	1	0.33	-	-	-	-	3	0.60
島根県	-	-	37	1.61	1	0.04	24	1.04	-	-	4	1.33	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	1	0.02	156	2.89	24	0.44	43	0.80	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	242	3.23	30	0.40	55	0.73	2	0.10	38	1.90	-	-	-	-	9	0.43
山口県	-	-	166	3.39	1	0.02	99	2.02	-	-	18	2.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	4	0.17	17	0.74	2	0.09	4	0.17	-	-	8	2.00	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	95	2.97	6	0.19	42	1.31	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.05	117	3.00	12	0.31	12	0.31	-	-	23	3.29	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	59	1.90	37	1.19	47	1.52	-	-	8	2.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	3	0.04	195	2.47	37	0.47	80	1.01	-	-	37	2.06	-	-	-	-	2	0.13
佐賀県	-	-	80	3.48	3	0.13	41	1.78	-	-	17	4.25	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	83	1.89	1	0.02	22	0.50	12	1.50	11	1.38	-	-	-	-	2	0.17
熊本県	-	-	199	4.06	6	0.12	154	3.14	-	-	8	0.89	-	-	1	0.07	8	0.53
大分県	-	-	82	2.28	27	0.75	16	0.44	-	-	10	2.00	-	-	-	-	2	0.22
宮崎県	1	0.03	105	2.84	-	-	44	1.19	1	0.25	6	1.50	-	-	-	-	3	0.43
鹿児島県	1	0.02	88	1.47	1	0.02	20	0.33	-	-	9	1.80	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	-	-	9	0.26	1	0.03	16	0.47	-	-	37	3.70	-	-	3	0.43	3	0.43

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年30週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	34	0.07	7	0.02	21	0.05
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	2	0.10	-	-	-	-
宮城県	5	0.42	3	0.25	1	0.08
秋田県	1	0.13	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	-	-	1	0.08	1	0.08
東京都	-	-	-	-	8	0.32
神奈川県	1	0.09	-	-	3	0.27
新潟県	4	0.31	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	2	0.33	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.15	-	-	3	0.23
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.17	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	3	0.21	-	-	2	0.14
奈良県	3	0.50	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	1	0.09
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	2	0.40	1	0.20
広島県	1	0.05	-	-	-	-
山口県	-	-	1	0.13	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.14	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第30号 平成12年8月11日発行
発行：国立感染症研究所

厚生省保健医療局結核感染症課
厚生省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL： <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhw.go.jp/>
<厚生省>
<http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/>
<成田空港検疫所>
<http://www.forth.go.jp/>
<旅行者のための海外感染症情報>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。